

【はじめに】

令和6年度（2024年度）全国学力・学習状況調査を分析し、北海道版結果報告書として取りまとめました。

本報告書は、教科に関する調査と生活習慣や学習環境等に関する質問調査の結果について、全道や管内・市町村の状況を分析し、改善の方向性を示すとともに、教育委員会や学校等の参考となるよう、学力向上に向けた特色のある取組事例を掲載しています。

本道の状況は、平均正答率が全国平均に達していないものの、中学校の国語は全国平均とほぼ同水準で、小学校の国語及び中学校の数学は全国平均との差が縮まるといった改善傾向が見られ、一定の成果が現れている一方で、小学校の算数では全国平均との差が広がっています。また、調査結果からは、深い理解を伴う知識の習得及びその活用や自分の考えを伝えるための書き表し方に課題が見られるほか、授業以外で勉強をする時間が短い傾向が依然として見られており、学校全体での検証改善サイクルの確立に向けて、ICTの効果的な活用を通じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による授業改善や授業と関連を図った家庭学習の定着に向けた取組が必要と考えています。

道教委では、本道の全ての子どもたちが、社会で自立するために必要な学力をしっかりと身に付けることができるよう、学校、家庭、地域、行政が一体となった学力向上の取組を一層推進してまいります。

教育関係者や保護者の方々のもとより、広く道民の皆様には、本道教育の推進に向け、引き続き深い御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年（2024年）11月
北海道教育委員会教育長 中 島 俊 明

【目次】

I 北海道の学力向上の取組に関する改善の方向性	
1 教科に関する調査の状況	2
◆ 各教科の平均正答率	
2 生活習慣や学習環境等に関する質問調査の状況	2
◆ 生活習慣や学習習慣等に関する回答結果	
3 分析と改善の方向性	3
◆ 授業改善の方策	
□ 国語の授業改善	4
□ 算数・数学の授業改善	6
□ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等を高める授業改善	8
◆ 高等学校の調査結果等を活用した授業改善の方策	10
◆ 小学校算数の課題の分析	21
4 道教委の取組	
◆ 検証改善サイクルの確立	
□ エビデンスに基づく資質・能力育成事業	22
◆ 授業改善	
□ 新しいかたちの学びの授業力向上推進事業	23
◆ 小中連携の推進	
□ 学校種間連携サポート事業	24
◆ 望ましい学習習慣の確立	
□ 自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立モデル事業	25
II 全道の状況	
1 平均正答率の推移	27
2 調査結果のレーダーチャート図	29
3 正答数の状況	44
4 経年比較による改善状況	46
5 今年度調査対象となった中学校第3学年の小学校第6学年時との比較	50
6 児童生徒質問調査結果及び学校質問調査結果と教科に関する調査結果のクロス分析による改善のポイント	53
◆ エビデンスの活用	57
7 札幌市を除く北海道の調査結果	58
III 各管内の状況	
1 管内の平均正答率の分布	64
2 管内の状況及び学力向上策	65
3 管内の学力向上策に関連した特色ある取組	93
IV 各市町村の状況	
1 各市町村の平均正答率の度数分布	108
2 各市町村の規模別の平均正答率	108
3 各市町村の規模別の児童生徒質問調査の回答状況	109
4 全国平均以上の市町村数（経年比較）	110
5 各市町村の状況及び学力向上策	111
執筆者・協力者一覧	292